

12-9right

(常司)方より乾餅米、並遠藤豆許多(あまた)贈らる

十九日寅 雨午下晴

無記事

廿日卯 晴雲

横地六来り刀劔(劔)首飾等売品を示さる

廿一日辰 晴漸陰

午下太田侯立よりの報ありし処、天年相_に付、止むるの急報あり、横地小君来り白玉糖

一折持来、村方_に送りとて常司方より菓子を贈らる

廿二日巳 晴乍雲 無記事 温度八十五度(摂氏 29.4度)

廿三日午 濃陰漸薄夕雨意

12-9left

叔母迎秀常司東京出立に付、叔母へりう女位花料届方其の前_に諸賞物等頼む

廿四日未 陰 無記事

廿五日申 晴雲雨数過夕晴

横地六来る骨董爺を伴ふ画書類展覧す

廿六日酉 晴

暖度八十八度(摂氏 31.1度)

横地六、八蔵同道来り作田_に蔵(蔵)融金の儀頼_むたる、諾し遣す、且横地六此話に而鼠画の幅好み

の趣に付、持合せ文晁筆の右画幅を投與(与)す、義雄世禄米受取遣す、右幸便に托し
牧田貞より書状届く西松尾へ移居せし_に殖、並家内人数_に御布告に付、_に来り
八蔵へ隠居久_に来り八蔵には用立円を返す、常司方より手製の_に婦に贈らる

*0:人名(常司)、親族のだけか)

*1:作田_に蔵、人名かどうか不明

印は解読未了の文字です。私の実力ではすぐ解読はできません。